観光診断報告まとまる

「水の都」の推進を！

上越新幹線の上野駅乗り入れや関越自動車道の全線開通など高速交通時代を迎え、これからの観光振興の方向性を探ろうと、市が民間コンサルタントに委託して行った「新潟市観光診断調査報告書」がまとまりました。

市では、これまで「新潟市の商業・観光の現状と上越新幹線開通影響調査」といった部分的な調査は行ってきましたが、全市的な診断は今回が初めてです。

「観光対策を考える場合、単に観光客を対象にしたものではなく、市民の文化・教養・レクリエーション活動に役立つものでなければならない。市民が愛着や誇りを持てる街づくりの中に、観光地整備の視点が取り入れられることが必要」という考えから、今回の診断では市民懇談会も行いました。

同報告書には「日本海、信濃川、阿賀野川、鳥屋野潟、新潟港などの水資源が日常の市民生活の中で十分に生かされているとは言えず、かつての〝水の都〟の雰囲気が失われている。今後は〝水の都〟のイメージを街の中に取りもどし、さらに新たな新潟らしさを造ることが観光地整備につながる」と提言されています。

日本海アクティブゾーン、美術館ゾーンなど市内に十カ所のゾーンを設定し、それぞれの現状と整備計画を示しているほか、特に重点的に整備が必要な課題として①「水」を生かした観光の推進②観光資源の整備③イベント対策④観光体制の充実――といった四つの視点から、具体的な事業を挙げています。

民間の協力も必要なことから、市では観光協会とも協議し、可能なものから積極的に実施していく方針です。

報告書に提言されている十カ所のゾーンの整備計画（概要）は次の通りです。

日本海アクティブゾーン

日本海側の海洋スポーツの拠点として整備を図る。主に青少年のための海洋スポーツの指導・研修施設を中心に、レストハウス、レストラン、広場などを配置する。このほかフィッシングセンター（海釣り公園）、夕陽の日本海を楽しみながらコンサートなどを鑑賞できる「イベント広場」マリンセンター、彫像やモニュメントを配置した海辺の遊歩道」などを整備する。

日本海散策ゾーン

護国神社や文学の砂山、会津八一記念館など静的な観賞施設が多いため、海岸の自然を楽しみ、新潟ゆかりの文学を訪ねる散策・休養ゾーンとして整備を図る。坂口安吾を中心とした「文学の館」や、のんびりと日本海を眺めることができる「広場」、文学や郷土史にちなんだ彫刻の道（散策路）」などを配置する。

古町・本町ゾーン

市民や観光客がショッピングを楽しめるゾーンとして整備を図る。〝かつての〟水の街」、「堀の街」という雰囲気が失われているため、公共施設、半公共施設、民間の大規模な施設や街角に「水のモニュメント」などを配置し、身近な水辺の復活を目指す。街並みの整備については長期的な取り組みが必要であり、行政・市民・学識経験者などによる「街並み整備委員会」を設置して、協議・検討していくことが望ましい。

美術館ゾーン

美術館と西大畑公園は、来年秋オープンを目指し建設中。市民や観光客が、新潟の歴史に親しむことのできる散策ゾーンとして整備を図る。西堀に並ぶ寺院の由来説明板の配置や、坂口安吾の生家跡に記念碑の建立を図る。

セントラルパークゾーン

白山公園を中心にした散策ゾーンとして整備を図る。体育館裏手の信濃川べりを「水辺公園」に整備。ここに県政市民に親しまれる港づくりを記念館を移築し「テームズ川の河畔に立つイギリス国会議事堂を模した洋風建築」として、名所にする。

信濃川・万代島ゾーン

「水の都」の復活を目指し、市民が憩い、つどえる水辺空間の整備を図り、市民生活の中で河川利用を検討する。東港の整備による万代島（西港）の港湾機能の見直しに伴い、レストランや遊覧船、水上バスなどを備えた「港公園」、万代橋を眺めたり、記念撮影ができる「親橋デッキ」、郷土資料館周辺の堀の復元、税関の船着場を再現した「みなと史跡公園」などを整備する。

新潟駅周辺ゾーン

新潟の顔として万代口広場の整備を行い、万代口から信濃川までの歩道を「緑と水と彫刻の歩道」に整備する。このほか、万代口に駐車場やモニュメントを配置し、総合インフォメーションセンターやレンタサイクルセンターなどの整備を図る。

鳥屋野潟アメニティゾーン

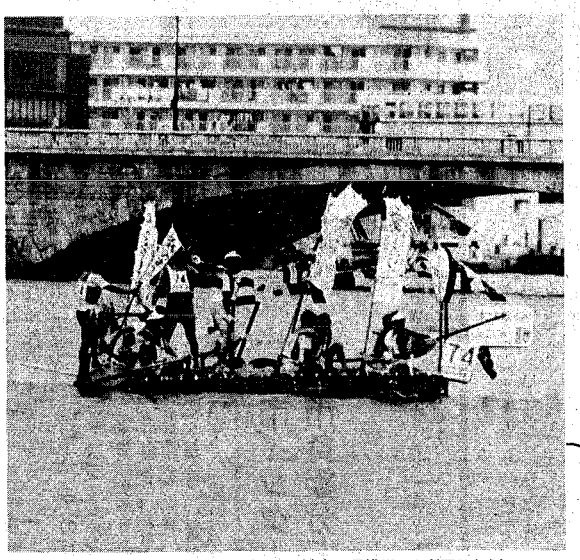
新発田、阿賀野川ライン、新津、白根の各方面から新潟市内に入る場合の観光拠点として、名所化を図る。新たな観光資源として「産業会館」、国際的なチューリップ産出県にふさわしい規模の「花と緑の広場」、「米と酒の博物館」などの整備を検討し、これらの施設と一体化した広域インフォメーションセンターを整備する。

松浜・島見浜ゾーン

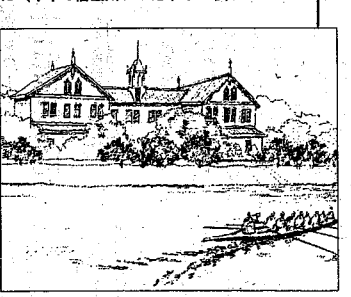
自然の中でのスポーツレクリエーションゾーンとして整備を図る。砂丘や河畔を活用したスポーツイベントの開催により、各種スポーツのメッカとする。地形の起伏を生かしたシーサイドラインゴルフコースなどを整備する。

信濃川・万代島ゾーン

自然を生かした休養型のレクリエーションゾーンとして整備を図る。新潟一弥彦ルートの立ち寄りの場もあるため、観光インフォメーションセンターを配置する。砂丘や田園を保全し、砂丘展望台やほき木ロードなどの整備を検討する。このほか、四季の自然を観察・学習するための中心施設として「野鳥観察センター」の整備などを図る。



市民が憩い、集える水辺空間に（今年の信濃川いかだ下りから）



河岸に映える旧県議会議事堂の風景イメージ（移築を想定）

重点事業としての提言

主要な整備計画のうち、特に重点的な整備が必要と提言された事業は次の通りです。

●水を生かした観光の推進

鳥屋野潟公園の整備、佐潟公園の整備、郷土資料館周辺の整備（みなと史跡公園や堀の復元、見附市会場の整備、信濃川の水上バスや渡し船、万代橋・親橋デッキの整備、水辺公園の整備、海水浴場の整備、砂浜の復元（寄居浜など）、海づり公園の整備、海辺の遊歩道の整備、イベント広場の整備、駐車場の整備（西海岸公園など）、サイクリングセンター（貸自転車）の整備）

●観光資源の整備

産業会館の建設、水族館（マリンセンター）の建設、花と緑の広場の整備、米と酒の博物館の建設、郷土博物館の建設、大通りや海岸に彫刻を設置

●イベント対策

新潟まつりの強化、信濃川や日本海を利用したスポーツフェアーや水上音楽祭、「水の都」芸術祭などのイベントの創出

●観光体制の充実

情報センターなども併設した観光会館の建設、モデルコースの整備、観光案内板、史跡・記念碑の説明板設置、観光PR、宣伝の強化

婦人の貧血予防講習会

日時　12月11日午前10時～午後零時半
会場　西保健所
内容　医師の話、調理実習、試食・相談
持参品　エプロン、三角きん、ご飯またはパン
問い合わせ　西保健所へ

離乳食講習会

対象　生後4カ月に達した赤ちゃんをお持ちのお母さん、または保育している人
持参品　母子健康手帳

月日	会場	時間	申し込み
12・13	西保健所	午前9時半～10時受け付け、正午終了	当日会場へ
12・20	鳥屋野地区保健センター	午後1時半～3時半	電話で会場へ

保健婦による老人出張相談

月日	会場	時間	対象
12・10	老人憩いの家「寿楽園」	午後1時半～3時	
12・13	（医師による相談もあり）老人憩いの家「石山荘」	午後1時半～3時半	60歳以上
12・14	老人憩いの家「鳥屋野荘」	午後1時半～3時	

保健婦による健康相談

老人保健法「健康手帳」お持ちの方は持参下さい。

地区	月日	会場	時間
山の下	12・10	太平第二集会所	午後1時半～3時半
石山		（医師による相談）（栄養士による相談もあり）石山地区保健センター	午後1時半～3時
赤塚		（内科医の相談もあり）赤塚連絡所	午前10時～正午 午後1時～3時
坂井輪	12・11	小針公民館	〃
入舟		入舟地区保健センター	午後1時半～3時
曽野木	12・12	鐘木会館	午前10時～正午
内野		上新町公民館	午前10時～正午 午後1時～3時
中野小屋		中野小屋連絡所	〃
鳥屋野	12・13	鳥屋野自治会館	午後1時半～3時
松浜、南浜、濁川	12・14	北地区保健センター	午前10時～正午 午後1時～3時

献血車「ゆうあい号」

月日	時間	会場	
12・10	午前10時～午後4時	キュービット松浜店前（松浜）	
12・11	午前9時～正午	日産プリンス新潟販売㈱	新潟営業所（寄西3）
	午後1時～3時半		本社（万代1）
12・12	午前10時～午後4時	県信宝町店前（宝町1）	
12・13	午前9時～午後4時	北越製紙㈱新潟工場（幸町）	
12・14	午前10時～午後4時	新潟交通バスセンター東側（万代1）	

※正午～午後1時まで受け付け休みます。

育児講習会

持参品　母子健康手帳、筆記用具

地区	月日	会場	対象	時間
曽野木	12・12	鐘木会館（曽野木団地）	9月生まれの乳児	午後1時～3時
山の下	12・13	中地区保健センター	7月生まれの乳児	午後1時半～3時
木戸	12・21	木戸公民館	生後6～7カ月の乳児15人 ※電話で東保健所へ予約が必要	午後1時15分～1時半受け付け

成人病食事相談

持参品　みそ汁の塩分テストを希望する方は汁のみ100cc、一般健康診査などで血圧、血糖の検査データ（お持ちの方のみ）

月日	会場	時間	申し込み
12・21	西保健所	午前9時～11時	電話で会場へ
12・12	上新町公民館	午前10時～午後3時	当日会場へ
12・13	中野小屋連絡所		
12・17	鳥屋野地区保健センター	午前9時半～午後3時	〃
12・20	東保健所	午前9時～11時	電話で会場へ